

平成 7 年度 海外農業開発事業

事前調査報告書

カンボディア王国

カンボディア南部 3 県農村開発計画

カンボディア南部地下水開発調査計画

平成 7 年 4 月

(社) 海外農業開発コンサルタンツ協会
A D C A

目次

カンボディア南部 タケオ、コンボンスプー、カンダル3県農村開発計画

1 章	背景	
1.1	カンボディアの現況および調査の背景	1
1.2	調査対象地域の気象	2
1.3	経済の概況	2
1.4	日本政府が支援している“難民再定住計画”の概況	3
2 章	カンボディア南部3県農村開発計画の概況	4
2.1	目的	4
2.2	農村基盤整備計画の概況	4
2.3	プロジェクト実施計画案	5

カンボディア南部地下水開発調査計画

1 章	背景	6
2 章	調査対象地域の概況	5
3 章	調査の目的	7
4 章	調査計画の概要	7
5 章	調査実施行程（案）	7

<総合所見>

添付資料

- A 調査日程・調査員
- B 主要面会者リスト
- C 日本政府支援の“農村開発・難民再定住計画”の概要

カンボディア南部タケオ、コンボンスプー、カンダル3県農村開発計画

1 章 背景

1.1 カンボディアの現況および調査の背景

カンボディアは、北緯10度～15度、東経102度～108度の範囲に位置し、熱帯アジアモンスーン帯に属する。国土の北部はラオス、東部はベトナム、西部はタイ、南部はシャム湾に面している。国土総面積は 181,916 km²（日本の約半分）で、メコン河流域とトンレサップ湖周辺に広大な農耕地を有する自然豊かな農業国家である。雨期におけるメコン河の流量は渇水期の20倍にも増大し、トンレサップ湖に逆流する水量は渇水期の湖面積約 3,000km²から10,000km²以上に増大する。すなわちトンレサップ湖は自然の大調整湖の役割を果たしている。

カンボディア国家総人口は、880万人（1990年計画省推定）であり、首都プノンペンの人口は約80～100万人と推定される。人口増加率は2.8～3%、GDPの推定は150～200 US\$（1990年）である。

国内主要農産物は、米、トウモロコシ、大豆、砂糖黍、胡麻、タバコ等のほか、ゴム、木材であり、養豚、養鶏等も盛んである。さらに国民の主要タンパク資源である干し魚、塩辛等も生産され近隣諸国に輸出している。農業従事人口は国民の約85%と推定されている。米の国内生産量は約220万トン（1990年）から約240万トン（1994年）と推移しているが、1991年と1993年の洪水では多大な被害が発生し国連機関、諸外国及びNGO等の援助により不足量を補われている。1993年のカンボディア国内全農耕地面積は約220万haであり（稲作面積は約83%）、平均単位収量は約1.2～1.5トン/ha程度である。平均単位収量が低い原因には内戦による影響が今だ大きく残っており、灌漑施設の未整備、労働力不足、肥料不足、地雷の未撤去、農業機械不足、農村基盤整備の遅れ等が上げられる。

カンボディア政府・農業省および農村開発省は国家再建5カ年計画の中で、1)食糧自給率の向上 2)森林資源の保護及び計画的開発 3)内水面漁業の開発を主要開発課題として取り組んでいるが、技術力・開発資金が不足しており計画の達成には困難なる道のりが続いている。

しかしながら、カンボディアの農業および農村復興は国家再建にとって不可欠であり迅速に推進する必要がある。そのため、日本政府および国連機関の支援の基に1993年より実施されている“難民再定住計画”（後述）の拡大策として、カンボディア政府・農村開発省は、カンボディア南部3県（タケオ、コンボンスプー、カンダル）を統合する農村整備開発計画の策定・実施を依頼している。これらの依頼を受け今回 ADCA による事前調査を実施する運びとなった。

1.2 調査対象地域の気候

熱帯アジアモンスーン気候帯に属するカンボディアでは、5月～10月が雨期で11月～4月が乾期となっている。首都プノンペン周辺における月平均気温、降雨量は以下の通り。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
平均気温	℃	26.1	27.5	28.9	29.4	28.8	28.1
最高気温	℃	36.6	36.7	39.0	40.5	38.5	38.4
最低気温	℃	13.3	15.2	19.0	17.9	20.6	21.2
降雨量	mm	4.9	3.8	26.5	95.4	172.1	119.9

		7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	℃	27.6	27.7	27.3	27.2	26.7	25.4
最高気温	℃	36.6	36.0	35.5	34.4	34.4	34.8
最低気温	℃	20.1	22.0	21.9	20.8	16.8	14.4
降雨量	mm	106.1	160.4	251.9	245.2	152.1	20.6

出展：メコン委員会

1.3 経済の概要

カンボディアにおける国内総生産(GDP)は、1989年 8.9億 US\$、1992年は13.6億 US\$ である。為替レートは1989年12月 1ドル = 248リエル、1991年6月 1ドル = 830 リエル、1995年4月 1ドル = 2,300 リエルで、リエルの価値は低下し続けておりインフレが進んでいる。

農業が国内の主要産業であり、米（粳）の生産高は1990年220万トンである。そのほかに、生ゴム、木材、豆類、トウモロコシ、淡水魚等が生産されている。これらは米を除き主要輸出産品となっている。主要輸入品目は機械、車輛、石油、石油製品、肥料、繊維製品、食料品等である。

1993年9月カンボディア王国として復興して以来、経済活動はより自由活発となり、シンガポール及びタイ国等と合併企業が多く設立され、プノンペン市内は大層の賑わいと活気をみせている。合併企業の主な業種は、ホテル、銀行、製材所、繊維産業、卸小売業、サービス業等である。

しかしながら、農業（木材を含む）のほか他産業は育成途上にあり、国家収入財源も今だ確定していない現状下のカンボディアでは、公務員、一般市民および農民の生活はまさに極貧の状態である。

1.4 日本政府が支援している“難民再定住計画”の概要

カンボディア復興計画の一つである帰還難民の再定住促進に関し日本政府は以下のプロジェクトを1992年より実施中である。

国連支援に基づき、難民帰還、国内流民及び除隊兵士の再定住を図り、新生カンボディアとして復興させるため1993年5月総選挙が実施され、9月シアヌーク殿下を国家元首に仰ぐ‘カンボディア王国’が樹立した。難民帰還後の再定住援助及び地域農村開発を促進するため、日本政府は難民高等弁務官事務所（UNHCR）に対し約8億円の帰還支援資金援助を行うことになった。資金援助の半分（約4億円）を日本政府独自のプロジェクトとして実施することとなり、国際協力事業団（企画部）は1992年9月にプロジェクト形成調査団を組織し、UNHCRと協議した上でコンボンスプー及びタケオ県にプロジェクトサイト予定地を決め支援活動方針及び施設規模内容を調査した。更にカンボディア関係機関とも協議した上で、農村開発のための農村道路改修、公共施設、学校・診療所施設等の建設計画を決定した。これらの施設建設工事は1992年12月より開始され、1993年4月に竣工した。

完成した施設規模（農村基盤整備内容）は以下の通り。

1) 県道改修 県道 112, 26, 110号線

改修延長 42.1 km, 橋梁改修 7カ所, 道路横断暗渠 30カ所

2) コンボンスプー農村開発センター

管理棟・研修棟 750 m², 内面漁業施設 120 m², 試験圃場 3 ha他

3) サムロントン・サブセンター

小学校・診療所 200 m², 職業訓練所・事務所 210 m², 給水井戸 1カ所他

4) コンピセイ・サブセンター

小学校 300 m², 職業訓練所・事務所 210 m², 給水井戸 1カ所他

5) タケオ・サブセンター

診療所 50 m², 職業訓練所・事務所 210 m², 給水井戸 1カ所他

6) 県農業訓練センター改修

試験圃場, 貯水池, 家禽ヤード等の改修

さらに、農業普及・技術協力内容は以下の通り。

a) 農業普及

稲作、畑作、果樹、畜産、養魚、灌漑、農業機械、農民教育等

b) 公衆衛生

生活改善、医療改善等

c) 教育

小学校教育、英語教育等

d) 職業訓練

木材加工、金属加工、洋裁等

当プロジェクトは難民再定住及び農村開発促進計画（三角協力）と呼ばれ、リーダーであるJICA専門家の下、アセアン4ヶ国（マレーシア、フィリピン、タイ、インドネシア）の各専門家および日本の青年海外協力隊員等、計55人が協力して農業普及、公衆衛生、教育、生計向上等の分野で農村開発を実施しており、1995年4月現在、当プロジェクトは大きな農村開発の成果を上げている。

同プロジェクトの成果および農村の発展性がプノンペン首都圏を含む地域農村に理解された結果、現在実施されている35カ村のみならず当プロジェクトを基盤とし、より広域範囲の農村開発、特に農村間経済の連帯向上を目標とした新規拡大の農村開発プロジェクトの実施が高く望まれるようになった。

農村開発省は農村、郡、県からの農村開発プロジェクト実施についての要請を考慮し、カンダル、コンボンスプー、タケオ県を通る国道 2、3、4号線を連結する県道・農村道路（橋を含む）の改修、約 250村への地下水による農村給水、農業普及および農産物流通を向上させるための農村基盤整備を、日本政府に求めている。

2 章 カンボディア南部3県農村開発計画の概要

2.1 目的

ベトナム戦争とカンボディア内戦で疲弊した国内に、約 38万人の帰還難民、国内流民および除隊兵士への再定住と安定した生計の確立を図ることが新生カンボディア政府にとって最大の課題となっている。さらに、この問題を解決するためには、国内の最大産業であり労働人口の 約85 %を占める農業の基盤整備を行うことが最優先されている。

本件プロジェクトは前述した現在日本政府により実施されている“三角プロジェクト”（モデル農村開発プロジェクト）を踏まえ、カンボディア南部3県（カンダル、コンボンスプー、タケオ県）全体に波及する農村基盤整備を行い、帰還難民・国内流民を含む3県農民の生計の向上を実現しようとするものである。

2.2 農村基盤整備計画の概要

計画される農村基盤整備は、現在農村生活において最も必要である 1)農村給水（地下水によるハンドポンプ井戸給水）、農村間のコミュニティ・農産物流改善のための 2)農村道路改修、農業普及・市場・農村経済・医療改善のための 3)公共施設建設が主体となる。

農村開発省・農業省との協議の結果、農村給水施設設置カ所および改修路線等の施設規模概要は以下の通り。（位置図参照）

1) 農村給水

給水対象村落約 250村（250井以上）、井戸管理施設、資機材等

2) 農村道路改修 総延長 73 km

県道 51号線 延長約 22 km、改修橋梁 11カ所

県道 31号線 延長約 26 km、改修橋梁 13カ所

県道 202号線 延長約 15 km、改修橋梁 7カ所

村道 延長約 10 km、改修橋梁 5カ所

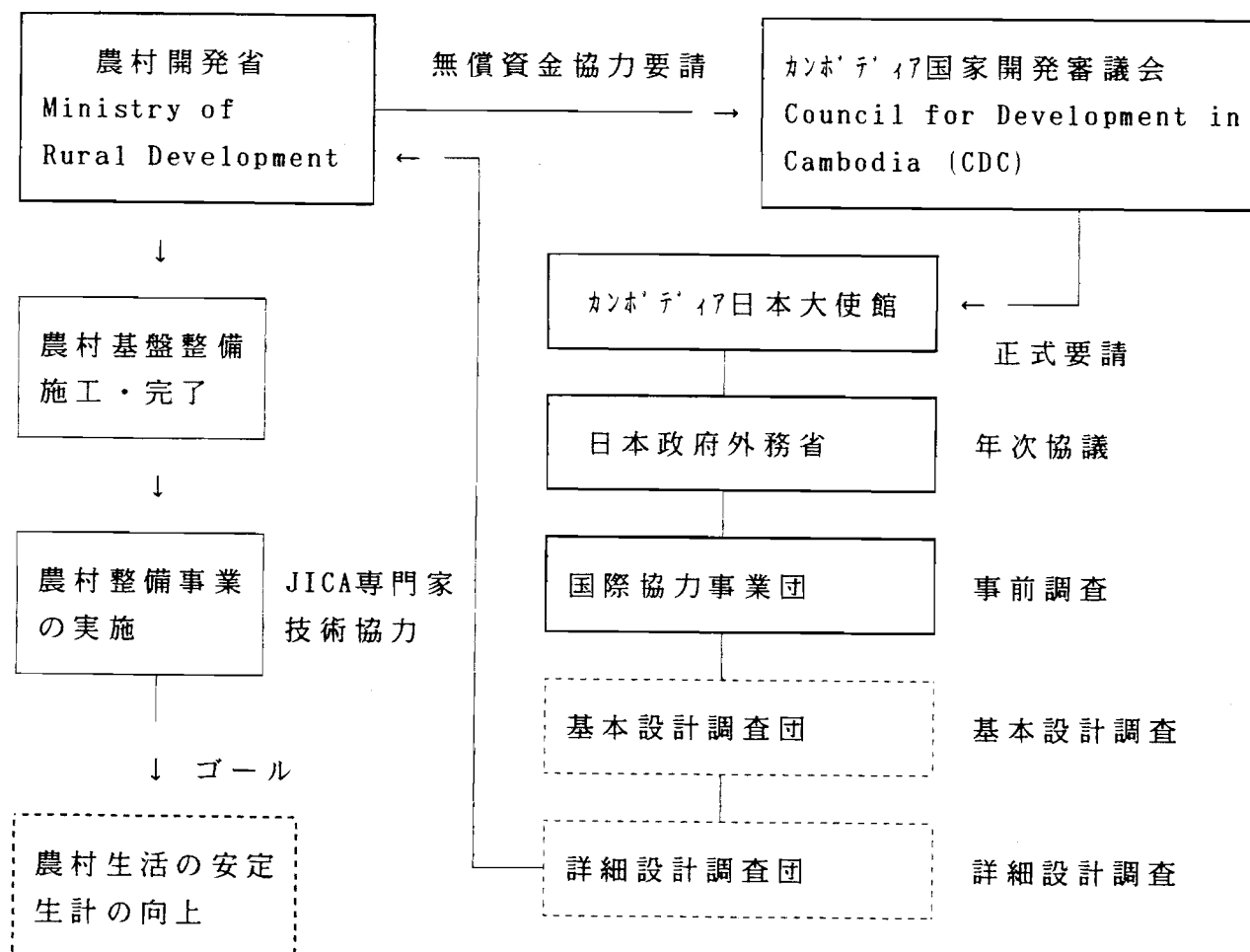
3) 農村公共施設

集会場・管理棟、市場、食糧貯蔵庫、修理工場等各 3カ所

2.3 プロジェクト実施計画案

本件南部3県農村開発計画は農村開発省、農業省および建設省にまたがる案件であるが、農村開発省が統括実施省庁となる。農村開発省は施設建設を管理するのみならず、農村基盤整備完了後、他省庁と協力し南部3県の農業普及、農産物の増収、農産物流通改善および農村生計向上等を図ることになる。

プロジェクト実施計画案の流れは以下の通り。



カンボディア南部地下水開発調査計画

1 章 背景

農村開発省は1993年12月農業省および厚生省より分離独立した省庁で、主要行政は農村社会開発、農村経済開発、農民教育、農村給水開発、農村医療等である。このうち、農村給水局は第一次国家農村開発計画の中で、地下水利用による農村給水開発をUNDP, NUICEF, 諸外国, NGO等の支援の基に実施しており、給水局内組織も近年強化されつつある。農村給水計画は1981年より開始され、農村給水局が現在引き継いで農村給水を実施している。

カンボディア全土の約80 %は農村部であり、農民は依然として河川、小貯水池、浅井戸等より生活用水を得ており、農村給水率は首都圏各県でも1995年現在10%以下という低い現状である。とくに乾期における水不足は深刻で伝染病、消化器系疾患を誘発させ、幼児死亡率はアジア諸国でも高い水準にある。農村開発を促進する上で、農村給水の拡充は国家の優先課題の一つに数えられている。

1994年、農村開発省・農村給水局は農村部における経済および生活水準の向上を図るべく、日本政府に対しカンボディア南部5県の地下水開発による農村給水の実施要請を起こした。1995年1月、同要請書はカンボディア国家開発審議会（CDC）を経由して日本大使館に提出されたが、要請内容の不備から正式には受理されていない。今回、ADCA事前調査にて本案件の調査内容・規模・調査カ所等を確認し、要請書案を作成する運びとなった。

2 章 調査対象地域の概況

調査対象地域はカンボディア南部5県（カンダル、コンボンスプー、タケオ、プレイベン、サバイリエン）で全調査対象面積は 22,496 km²である。各5県の郡・村・人口は以下の通り。

県名	面積	郡数	村数	人口 (1993年)
カンダル	3,813	11	1,092	942,064
コンボンスプー	7,016	8	1,260	473,649
タケオ	3,818	10	1,107	739,338
プレイベン	4,883	12	1,132	936,338
サバイリエン	2,966	7	690	406,626
計	22,496	48	5,281	3,497,710 人

出展：農村開発省

3 章 調査の目的

カンボディア南部5県地下水開発の目的は、同地域に対する農村給水実施推進に関わる飲料用水資源開発の策定を行うことであり、農村給水率を高め同国の地下水開発による農村給水普及に寄与するものである。さらに、農村給水実施により農村生活の安定、生活水準の向上を図るものである。

カンボディア南部5県地下水開発の主要調査内容は以下の通り。

- 1) カンボディア南部5県に対する地下水資源地図の作成と地下水開発戦略の策定。
- 2) 最優先農村給水必要地区の選定と地下水給水手法の確立。
- 3) 農村給水実施施工計画の策定。
- 4) カンボディア側農村給水局に対する地下水開発手法の技術協力および技術移転。

4 章 調査計画の概要

調査の概要はカンボディア南部5県に対する地下水調査に関わる可能性・F/S調査を行い、現在、国連機関およびNGO等でばらばらに実施されている農村給水計画に対し、農村給水局を中心として、効率良く統合的な地下水開発による農村給水の実施計画を策定することである。調査概要は以下の通り。

- 1) 資料の収集および現地踏査
社会経済情報、ランドサット画像、地形・地質図、水文地位図、地下水利用状況、既存井戸・農村給水情報、気象・水文、社会基盤、農業・営農情報他
- 2) 収集資料解析
- 3) 最優先開発村落の選出（モデル農村給水計画）
- 4) 試掘井建設および地下水資源量解析
- 5) 最適掘削機（リグマシン）の選定
- 6) 農村給水計画の立案
- 7) 維持管理計画の立案
- 8) 地下水無存量の評価
- 9) 農村給水計画の策定

5 章 調査実施行程（案）

調査はフェーズ1およびフェーズ2分けて実施する。実施行程（案）は以下の通り。調査全体期間はファイナル・レポート提出まで約17カ月を予定する。調査に必要である、調査人月は約70人/月前後となろう。

調査実施行程（案）

月	2	4	6	8	10	12	14	16	18
現地調査	_____			_____			_____		
国内作業 国内解析	=====			=====			=====		
報告書作成	△ Inception	△ Progress			△ Interim	△ Draft			△ Final Progress ▲ Final

<総合所見>

難民帰還、総選挙、政体、カンボディア王国樹立等、着々として国体は確立しつつあるが、一般市民・農民の生活には今だに大きな困難が伺える。特に農村部における道路・給水という必要最小限の基盤整備は全く手をつけていない現状と言っても過言ではない。農村部の給水状態が悪いため、伝染病・消化器系疾病が蔓延しており労働力不足から農業生産活動はままならず、米の生産量も1980年代より横ばいである。農村開発の一步すなわち貧困からの脱皮は、まず清潔な飲料水の確保・供給から開始するべきである。

カンボディア農村開発省は本2件の農村給水開発に対し、日本政府からの技術・資金援助を強く望んでおり、すでに実施中の“農村開発・難民再定住計画”を踏まえ当プロジェクトの拡充と、南部5県の地下水開発計画の策定を早急に実施したい意向である。

添付資料

A 調査日程

月 日	行程
4月22日	成田発 バンコク
23日	資料収集・打ち合わせ
24日	農村開発省・農村給水局表敬・打ち合わせ
25日	現地踏査 コンボンスプー県、タケオ県
26日	現地踏査 カンダル県、プレイベン県
27日	現地踏査 サバイリエン県
28日	大使館・JICA表敬・打ち合わせ
29日	農村開発省・農村給水局会議
30日	資料整理・CDC打ち合わせ
5月 1日	移動
2日	移動・帰国・成田着

調査員

竹森英治 国際航業株式会社 海外事業本部 企画室長

B 主要面会者リスト

農村開発省	大臣	Dr Hong Sun Huot
農村開発省	農村給水局長	Dr Mao Saray
農村開発省	農村給水局副長	Mr Sam Than
日本大使館	経済協力	Mr Shigemitsu Tsukamoto
JICA	フノンペン事務所	Mr Koji Sakane
JICA	専門家	Mr Takao Fujita
CDC	専門家	Mr Tesurou Hamada



プノンペン市内
の賑わい



国道1号線
プレイベン県



国道3号線
タケオ県



農村のため池
乾期に掘削し
雨期の雨水を
貯水する。



農村風景
プレイベン県

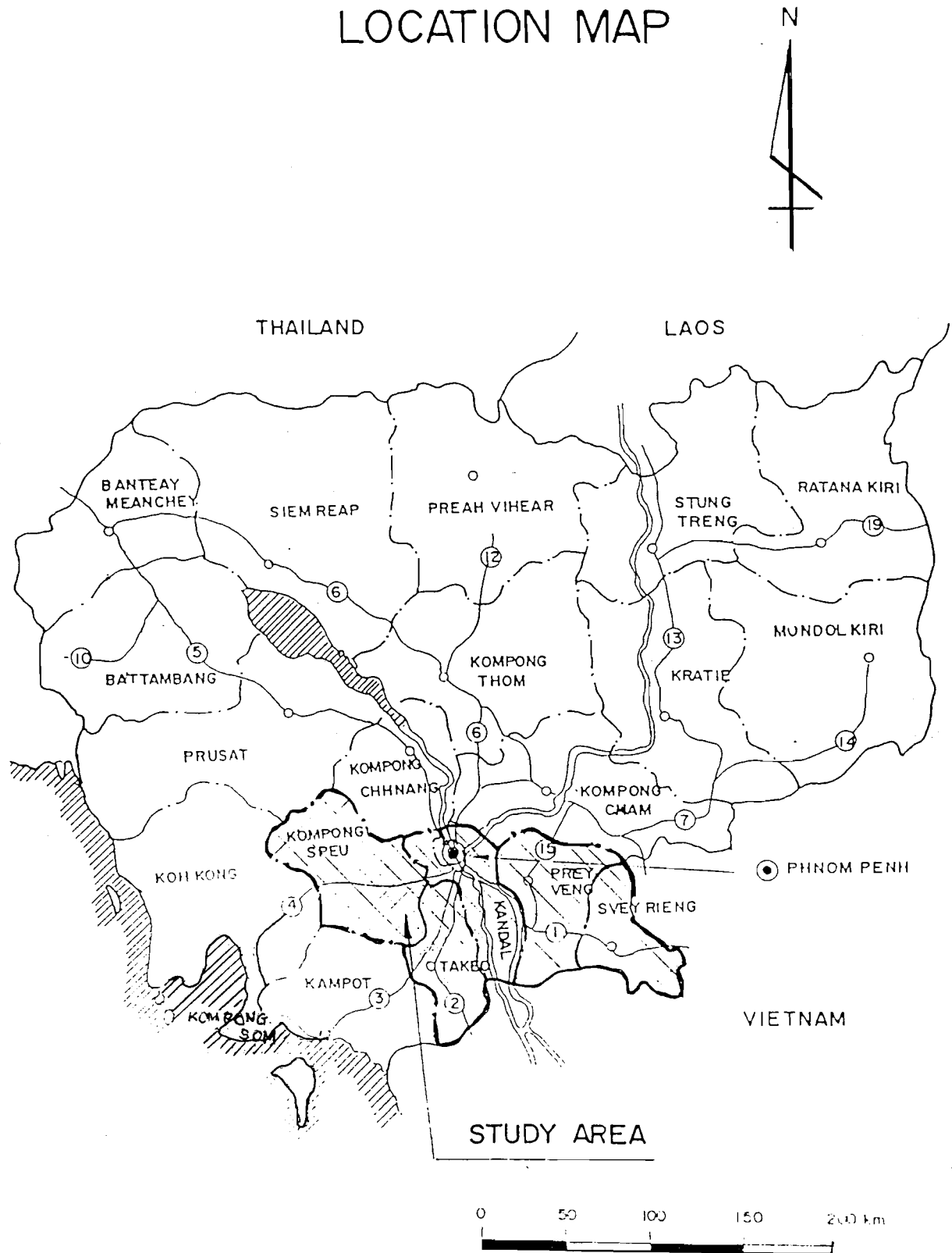


UNICEFが建設
した農村給水
施設
(ハント'ホ'ンブ')
サハ'イリエン県

PROJECT LOCATION MAP



LOCATION MAP



សហប្រតិបត្តិការ ប្រឹក្សាភិបាល

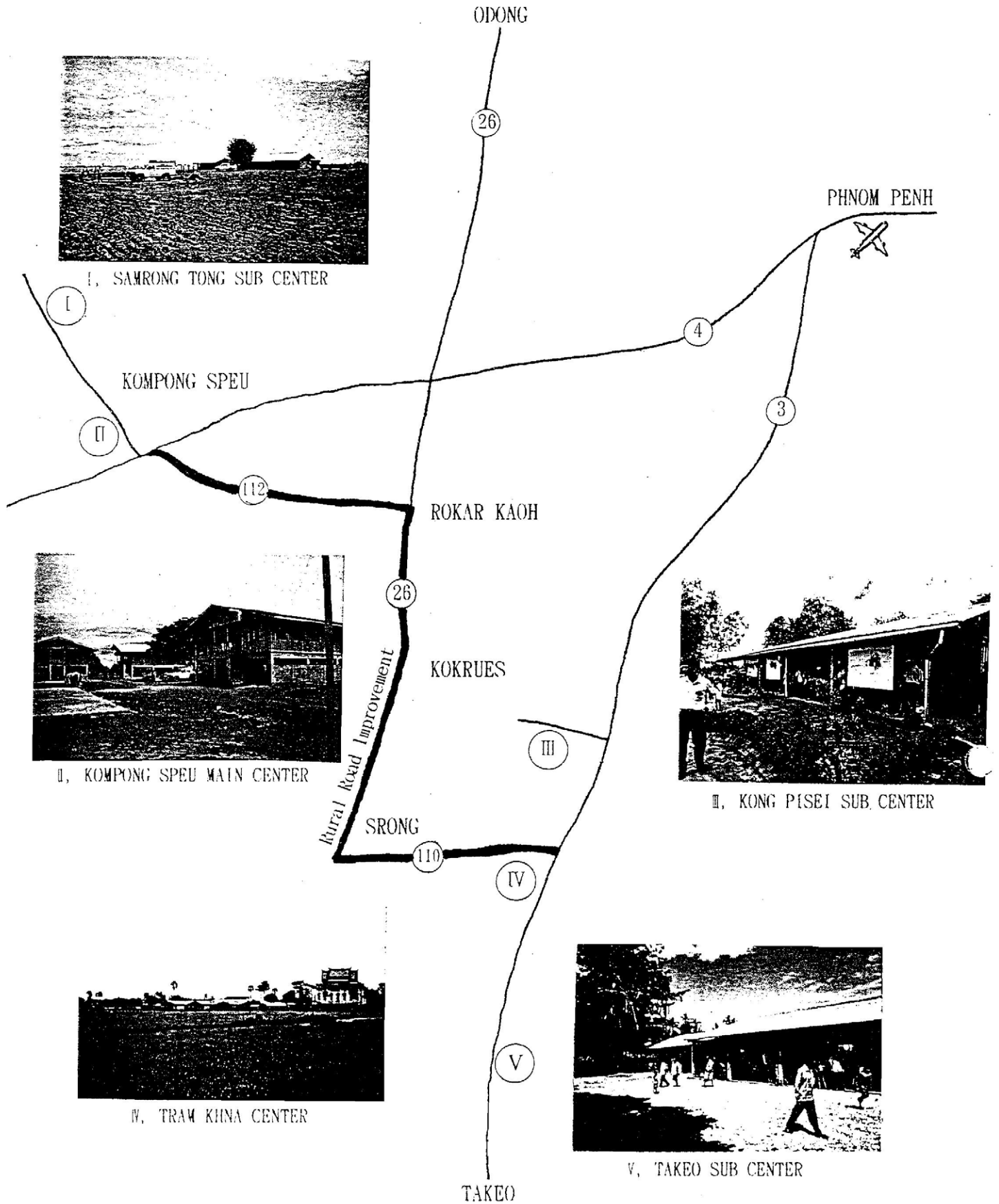
កម្ពុជា ឥណ្ឌូនេស៊ី ជប៉ុន ម៉ាឡេស៊ី ហ្វីលីពីន ថៃ
គម្រោងអភិវឌ្ឍន៍ជនបទ និង ការកាត់ទីលំនៅ



FRIENDSHIP COOPERATION

Cambodia, Indonesia, Japan, Malaysia, The Philippines and Thailand
Rural Development and Resettlement Project

DEVELOPMENT CENTERS





រាជរដ្ឋាភិបាលនៃព្រះរាជាណាចក្រ កម្ពុជា បានយកចិត្តទុកដាក់ ការងារអភិវឌ្ឍន៍ជនបទ ជាយុទ្ធវិធី
ចម្បង នឹងជាគន្លឹះក្នុងការ :

...ស្វែងរកសន្តិភាពជូនប្រទេសជាតិ

...ជួយលើកកម្ពស់ជីវភាពរស់នៅ របស់ប្រជាពលរដ្ឋ

ជាសក្ខីភាពបញ្ជាក់នូវការយកចិត្តទុកដាក់ ចំពោះបញ្ហានេះ ប្រមុខរាជរដ្ឋាភិបាល ដែលមាន:

+ សម្តេចក្រុមព្រះ នរោត្តម រណឫទ្ធិ នាយករដ្ឋមន្ត្រី ទី១ បានយាងជាព្រះរាជអធិបតេយ្យ ក្នុងពិធី
សម្ពោធថើកការដ្ឋាន " អភិវឌ្ឍន៍ជនបទ នឹងការតាំងទីលំនៅ " ក្នុងខែត្រកំពង់ស្ពឺ នឹងតាវែវ នាថ្ងៃ
ទី ១៨ មិថុនា ១៩៩៤ ដើម្បីបានដំណើរការជួយប្រជាពលរដ្ឋតាមទិសដៅ ។

+ សម្តេច ហ៊ុន សែន នាយករដ្ឋមន្ត្រី ទី២ បានអញ្ជើញធ្វើទស្សនកិច្ច តាមបណ្តាទីតាំងសកម្មភាព
នានារបស់គំរោង នាថ្ងៃទី ១៤ វិច្ឆិកា ១៩៩៤ ដែលជាការលើកទឹកចិត្តដល់ខ្សែក្បាល គំរោង នឹង
ប្រជាពលរដ្ឋ ក្នុងការចូលរួមចំណែក អភិវឌ្ឍន៍មូលដ្ឋាន ។



The Royal Government of the Kingdom of Cambodia considers the rural development activities as a main strategy and key to:

- find peace for the people and the nation, and
- better living condition of the people in rural area.

As the evidence, the leaders of the Royal Government paid the close attention to rural development activities:

*HRH Samdech Krum Preah Norodom Ranariddh, First Prime Minister presided the Opening Ceremony of "Rural Development and Resettlement Project" in Kompong Speu and Takeo Provinces on 18th June, 1994 for a harmonious and efficient implementation of the Project to help people as it was planned.

*Samdech Hun Sen, Second Prime Minister of the Royal Government takes the opportunity to visit several sites of the Project on 14th November, 1994 to encourage the Project and the people who participate in the program of rural development.

អ្វីទៅគំរោងអភិវឌ្ឍន៍ជនបទ និង ការតាំងទីលំនៅ ?



“ Thank you for the bridge, I can pass freely now.”

រដ្ឋាភិបាលជប៉ុន បានលើកសំណើ “សហប្រតិបត្តិការ ត្រីភាគី” រវាងជប៉ុន និងប្រទេស អាស៊ាន ដើម្បីជួយកម្ពុជា ក្នុងការអភិវឌ្ឍន៍ ជនបទនិងតាំងទីលំនៅដល់ជនភៀសខ្លួន ។ សំណើនេះបានលើកឡើងនៅសម័យប្រជុំជាការរួមគ្នា នៅទីក្រុងម៉ានីឡា នាថ្ងៃទី ២៤ កក្កដា ១៩៩២ ហើយគំនិតនេះ ត្រូវបានប្រទេសទាំង ៦ ឯកភាពគ្នានៅភ្នំពេញ ថ្ងៃ ៣០ កញ្ញា ១៩៩៣ ក្នុង “គំណាត់ពិភាក្សាសហប្រតិបត្តិការចម្រុះ នៃគំរោងអភិវឌ្ឍន៍ជនបទ និង ការតាំងទីលំនៅ នៅកម្ពុជា” ។ ថវិការបស់គំរោងត្រូវផ្តល់ដោយរដ្ឋាភិបាលជប៉ុន តាមរយៈទីភ្នាក់ងារ សហប្រជាជាតិ ។

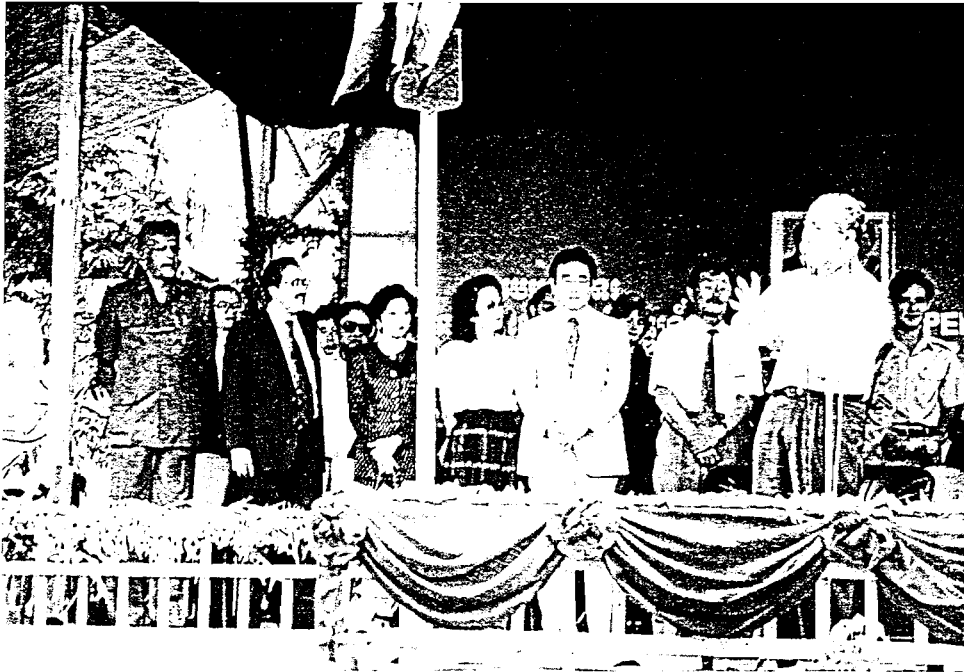
គំរោងបានចាប់ដំណើរការពីថ្ងៃទី ០១ ខែធ្នូ ១៩៩២ ដោយស្ថាបនាហេដ្ឋារចនាសម្ព័ន្ធនៅជនបទ ក្នុងនោះមាន ជួសជុលផ្លូវខ្សែត្របែង៤២គម សង់មណ្ឌលអភិវឌ្ឍន៍ ៤៤កន្លែងក្នុងឆ្នាំ១៩៩៣ និងសង់បន្ថែមមួយកន្លែងទៀតនៅត្រាំខ្នារ ។ ប្រទេសទាំង៥ បានបញ្ជូនអ្នកឯកទេសចំនួន៥០នាក់ ១០នាក់ពីប្រទេសនិមួយៗមកធ្វើការ ដោយមានស្ត្រីផង ។ បន្ទាប់ពី ធ្វើការសិក្សាស្រាវជ្រាវ អ្នកឯកទេសបានចាប់ផ្តើមការងាររបស់ខ្លួន ។ ក្រសួងអភិវឌ្ឍន៍ជនបទ បានបញ្ជូនបុគ្គលិកជា ដែក ដោយទៅធ្វើការជាមួយអ្នកឯកទេសគ្រប់រូប ដើម្បីបន្តការងារទៅអនាគត ។ គំរោងមានបំណងកែលំអដីភាពរស់ នៅ របស់ប្រជាពលរដ្ឋនៅជនបទ នាខែត្រកំពង់ស្ពឺ និងតាកែវ តាមរយៈវិស័យជំនាញដូចជា៖

កសិកម្ម ការបង្កើនប្រាក់ចំណូលបន្ថែម អប់រំ និង សុខាភិបាល

អ្នកឯកទេសបានសាកល្បងធ្វើរន្ទូវចំណេះដឹងដល់ប្រជាពលរដ្ឋនៅជនបទតាមបទដ្ឋាន និងគោលនយោបាយរបស់រដ្ឋាភិបាលកម្ពុជា និងមានការចូលរួមពីសំណាក់ប្រជាពលរដ្ឋមូលដ្ឋាន ។

ក្រៅពីការងារប្រចាំថ្ងៃ គំរោងបានជួយសង្រួបសង្រួមរដ្ឋាភិបាលដោយសារទឹកជំនន់ មានជំងឺអាសន្នរោគ និងកង្វះ ខាតទឹកក្នុងស្រុក ។ គំរោងបានផ្តល់កូនឈ្មើ ៦០០ដើមនៅឆ្នាំ១៩៩៣ “ទិវាដាំដើមឈើ” ចូលរួមរៀបចំការកែប្រែណែនាំចំងាយ លើគំណាត់ផ្លូវដែលបានជួសជុល ដើម្បីបើកទិវាស្វាគមន៍មួយរូប ចូលរួមកិច្ចការស៊ីវិល នៅទីក្រុងហ៊ីរ៉ូស៊ីម៉ា ។

What is RD & RP ?



The Project Opening Ceremony on 18th June 1994

The Government of Japan proposed a 'Tripartite Cooperation' of Japan and ASEAN countries to assist Cambodia in developing rural areas and resettling displaced persons at the Post-Ministerial Conference in Manila on 24th July, 1992 and the idea was agreed later with the six participating countries in Phnom Penh on 30th September, 1993 as the 'Record of Discussions on the Joint Cooperation for the Rural Development and Resettlement Project in Cambodia'. The Government of Japan funds the total project costs through UN organization.

The Project started on 1st December, 1992, constructing rural infrastructure of 42 km Provincial roads and four development centers in 1993, and built another center later at Tram Khna. The five countries dispatched 10 experts from each country with a total of 50 experts including eight women. The experts started their work after needs study in the target areas. Ministry of Rural Development attaches a counterpart to each expert to sustain the activities in the future. The Project aims at improving rural life in Kampong Speu and Takeo Provinces in the following fields.

Agriculture, Income Generation, Education, Public health

The experts have been trying to transfer basic skills to the local population, adaptable to the local standard in accordance with the policy of the Cambodian government. The Project attaches the greatest importance on local participation.

Other than those daily works, the Project helps people often in emergency cases as the flood, cholera outbreak and water shortage to paddy fields. The Project supported 'Tree Planting Day', providing 600 tree seedlings. The Project joined also in 'Marathon Race' held in July, 1994 along the roads rehabilitated by the Project to select an athlete for Asian Games in Hiroshima.

ក សិ ក ម្ម



The golden field of dreams

កសិកម្មជាវិស័យគ្រឹះសំរាប់ជីវភាពរស់នៅនាជនបទ ។ គំរោងបានប្រឹងប្រែងលើកស្ទួយគ្រប់ផ្នែកទាំងអស់នៃវិស័យនេះ រួមមាន ដំណាំស្រូវ ប្រព័ន្ធស្រោចស្រពទ្រង់ទ្រាយតូច គ្រឿងយន្តកសិកម្ម បន្លែ ឈើហូបផ្លែ ការចិញ្ចឹមសត្វ និងការចិញ្ចឹមត្រី ដោយមានអ្នកឯកទេសចំនួន ២២រូបចូលរួម ។

ផ្នែកដាំដុះស្រូវមានគោលការណ៍បង្កើនទិន្នផល និងផលិតកម្ម តាមរយៈធ្វើស្រែបង្ហាញ បង្រៀនភ្នាក់ងារផ្សព្វផ្សាយនិងកសិកររៀបចំប្រព័ន្ធស្រោចស្រពទ្រង់ទ្រាយតូច និងប្រព័ន្ធដាំដុះ ។

ចំណែកដំណាំរួមផ្សំ និងបន្លែ បានយំណាត់កសិករអោយប្រើប្រាស់ដីទំនេរក្នុងការដាំដំណាំចម្រុះ ដើម្បីបង្កើនបន្ថែមនូវ ចំណីអាហារនិងប្រាក់កាសសំរាប់គ្រួសារ ។ ការដាំដើមឈើហូបផ្លែ រួមមានធ្វើឡលបណ្តុះ និងដាំតាមចំការ បានត្រូវអនុវត្ត ដោយការជ្រើសរើសពូជល្អ និងការថែទាំ ។ ការអនុវត្តជាក់ស្តែង គឺបង្រៀនដល់ភ្នាក់ងារផ្សព្វផ្សាយនិងកសិករ ពីរបៀបដាំដុះ ការដាក់ដី ការកំចាត់សត្វល្អិត និងការប្រមូលផល ។ ការបង្រៀនពីការកែច្នៃផ្លូវអាហារ បានទាក់ទាញស្ត្រីមេផ្ទះជាច្រើនតាមភូមិនានា ហើយជារឿយៗភ្នាក់ងារសុខាភិបាលបានពិនិត្យឃើញថា សុខភាពប្រជាពលរដ្ឋមានភាពល្អប្រសើរបន្ទាប់ពីបានទទួលនូវចំណីអាហារជាហូបហែរ ។

ផ្នែកចិញ្ចឹមសត្វបានធ្វើការពិនិត្យសុខភាពសត្វ ការដាំស្បៃ បង្កាត់គោ សង់រោងគោគំរូ ធ្វើដឹកុំប៉ុស រៀបចំទុកដាក់ចំណីសត្វ និងរបៀបភ្ជួរសំពង់មាត់ ។

ត្រីទឹកសាប ជាប្រភពប្រពៃណីយ៉ាងសំខាន់ចំពោះប្រជាពលរដ្ឋនៅជនបទ ។ បច្ចេកទេសនៃការចិញ្ចឹមត្រីនិងផលិតកម្មត្រី ត្រូវបានផ្ទេរដល់អ្នកបច្ចេកទេស និងកសិករ តាមការបង្រៀនរបៀបបង្កាត់តាមបែបសិប្បនិម្មិត ការភ្ជួរសំ និងផ្តល់ចំណី ក្នុងគោលបំណងផ្សព្វផ្សាយ កូនត្រីរាប់លានក្បាល ដូចជាៈ ត្រីឆ្អិន ទីឡាបញ្ចាំ កាបសាមញ្ញ និងត្រីអណ្តែង ដល់ប្រជាពលរដ្ឋ ។

AGRICULTURE

Agriculture is a base of rural life, outweighing any other industries in the rural areas. The Project endeavors on the whole field of agriculture including rice, small scale irrigation, farm machines, vegetables, fruit tree, subsidiary crop, livestock and fresh water fish by 22 experts.

Rice growing is aimed at increasing the yield and seed production by demonstration, training extension workers and farmers, small scale irrigation and an innovative farming system.

Vegetables and subsidiary crops are introduced intensively to farmers to utilize idle lands through an integrated farming system, contributing to family nutrition and additional income. Fruit management includes establishment of nurseries and orchards, selection of good mother trees for asexual propagation and maintenance of trees. Farm practices are trained to farmers and extension workers on planting, application of fertilizer, pest control and harvest. Seminars on food preservation have attracted many housewives in villages, and are often held with health workers to secure a continuous supply of nutrition.

Animal husbandry works on animal health, grass growing, cattle breeding, building a model stall, pit compost, silage and incubation of chickens.

Fresh water fish are very important source of protein to the local population. Fish culture transfers technologies to technicians and farmers on fry production through artificial fertilization, hatchery and fish feeding, targeting to propagate a million fry of common carp, common silver barb, telapia and cat fish.

Transfer simple but effective technology



Simple incubator



Plant propagation by grafting

ការបង្កើនបន្ថែមប្រាក់ចំណូល

ទ្រឹស្តីម៉ាក់ស៊ីមរបស់ចិនចែងថា "ផ្តល់ត្រីភោជនមនុស្សម្នាក់ គាត់ហូបអស់ក្នុងមួយថ្ងៃ តែបើបង្រៀនគេអោយចេះស្ទូចត្រី គេអាចប្រកបរបរនេះបានមួយជីវិត" ។ យោងតាមគំនិតនេះ គំរោងបានបើកវគ្គរៀនសូត្រដោយផ្តល់នូវចំណេះដឹងជាមូលដ្ឋានរយៈពេលខ្លី ពី៣ទៅ៦ខែ ដល់ប្រជាពលរដ្ឋនៅមូលដ្ឋាន ដែលជាមធ្យោបាយដ៏ល្អប្រសើរសំរាប់ជួយគេក្នុងការប្រកបរបរចិញ្ចឹមជីវិតនៅថ្ងៃអនាគត ។ អ្នកឯកទេសចំនួន ១៥នាក់បានបង្រៀនមុខវិជ្ជាផ្សេងៗ ដល់ស្ត្រីនិងយុវជនជាច្រើននៅតាមមូលដ្ឋាន លើវិស័យបង្កើនបន្ថែមប្រាក់ចំណូល ។ មុខវិជ្ជាទាំងនោះមាន ៖

- | | | |
|----------------------|-------------------------|-----------|
| ..កាត់ដេរសំលៀកបំពាក់ | ..កាត់សក់ អ៊ុតសក់ | ..ស្ទូន |
| ..សិប្បកម្ម | ..ជួសជុលម៉ូតូ | ..ផ្សាដែក |
| ..រៀបឥដ្ឋ | ..ជាងឈើ | ..ជាងឥទឹក |
| | ..តំឡើងបរិក្ខារអគ្គិសនី | |

វគ្គរៀនសូត្រទាំងអស់បានបើកឡើងនៅតាមមណ្ឌល ដូចនៅមជ្ឈមណ្ឌលកំពង់ស្ពឺ អនុមណ្ឌលគងពិសី និងតាកែវ ។ វគ្គរៀនសូត្រមួយចំនួន បានផ្សារភ្ជាប់ផ្នែកទ្រឹស្តី និងអនុវត្ត ដូចជាសិក្សាតាមផ្នែករៀបឥដ្ឋ និងជាងឈើ បានចូលរួមក្នុងការសាងសង់សាលារៀន ដែលផ្សារភ្ជាប់ទៅនឹងវិស័យអប់រំ ។



គ្រប់វគ្គរៀនសូត្រទាំងអស់ បានទាក់ទាញប្រជាពលរដ្ឋជាច្រើនអោយចូលរួម ហើយរហូតមកដល់ពេលនេះមានសិក្សាកាមចំនួន ៣៦៨នាក់ ។ នៅគ្រប់វគ្គទាំងអស់ បានទទួលបេតិកភណ្ឌជាសិក្សាតាមលើសផែនការ ហើយពេលខ្លះមានច្រើនហួសការស្មាន ។ តាមរយៈការរៀនសូត្រទាំងនេះ គេឃ្លាក់ៗសង្ឃឹមនិងជឿជាក់អាចយកចំណេះដឹងទៅប្រកបរបរចិញ្ចឹមជីវិតបានល្អនាពេលខាងមុខ ដោយគេអាចរកស៊ីចូលឆ្នាំ ឬអាចបើកអាជីវកម្មដោយខ្លួនឯង ។

ដើម្បីជួយសំរួលក្នុងការរកមុខរបរ នៅពេលចប់វគ្គរៀនសូត្រ សិក្សាតាមម្នាក់ៗបានទទួលនូវវិញ្ញាបនប័ត្របញ្ជាក់ការសិក្សា ដែលចេញដោយក្រសួងអភិវឌ្ឍន៍ជនបទ និងគំរោង ។

INCOME GENERATION

A Chinese maxim says, "Give a man a fish, it will be finished in a day, but teach him fishing, it will remain in the whole life". Following the idea, the Project offers a short term basic skill training ranging from three to six months, giving better ways of earning their livings in the rural areas.

The Project provides women and youths with various trainings by 15 instructors in order to generate income as follows;

Dress making,	Hair dressing,	Ceramics,
Woodworks,	Motorcycle repair,	Metal fabrication,
Brick laying,	Carpentry & joinery,	Plumbing and
Electrical installation		

All the courses perform a centralized training at development centers of the Project such as Kampong Speu Main Center, Kong Pisey Sub-center and Takeo Sub-center. A few courses undertake on-the-job training in practical works as building schools by trainees of brick laying course and carpentry & joinery course for example, joining in educational activities.



All the training courses attract many people for participation, totalling 368 trainees so far. All the courses received more candidates of trainees than planned and sometimes too many. Trainees really hope and are confident to uplift their livings in the future through these courses. One may work with somebody or open up his own business after completing the training.

At the end of a course, all the trainees are offered a Certificate of Achievement issued by Ministry of Rural Development and the Project which may help them find a job.

វិស័យអប់រំ

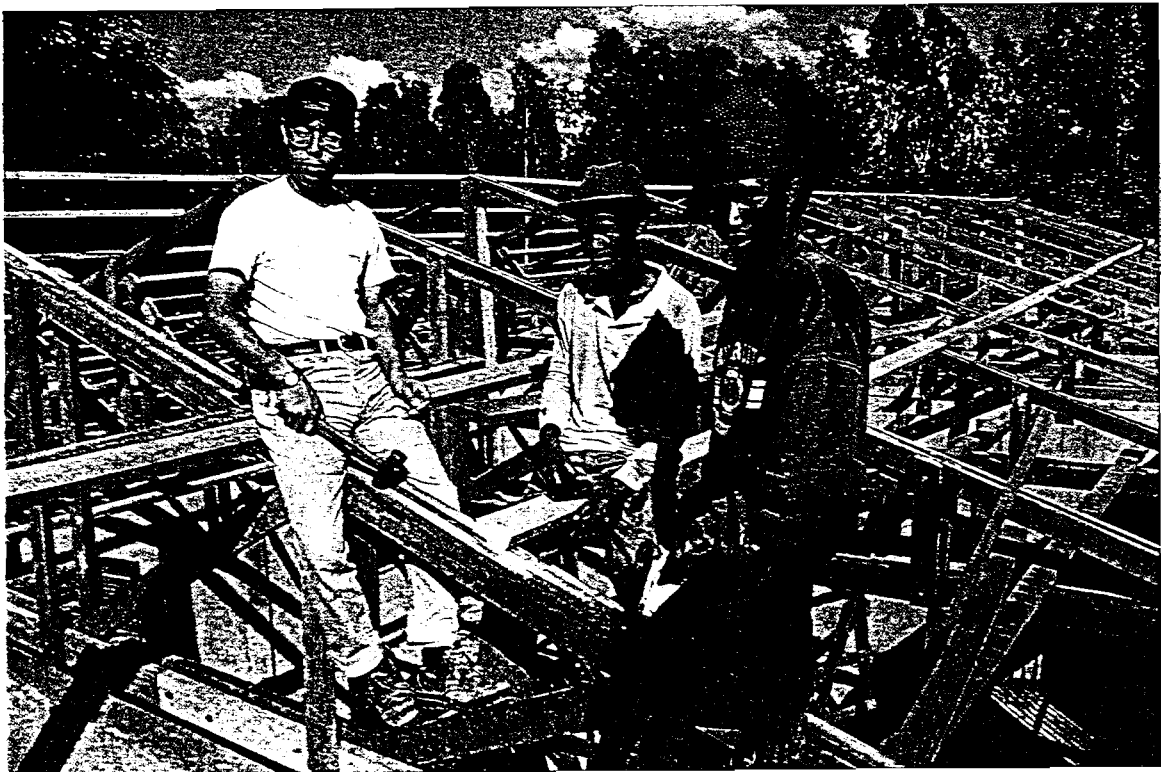
ការស្ទង់អង្កេតដែលធ្វើឡើងដោយគំរោង ក្នុងខែមិថុនា ១៩៩៤ នៅស្រុកគងពិសី ខេត្តកំពង់ស្ពឺបានបង្ហាញថា កុមារចំនួន ៦៤% ទៅសាលារៀន ក្នុងនោះមានកុមារី ៥៨% និងកុមារ ៧២% ។ ក្នុងចំណោមមនុស្សចាស់នៅជនបទអ្នកចេះអក្សរមាន៦២.៤% ដោយក្នុងនោះ ស្រ្តីមាន ៤៣.១% និងបុរស ៨៩.៦% ។

វិស័យអប់រំត្រូវការថវិកាយ៉ាងច្រើនសំរាប់សង្គមជាតិ និងបុគ្គលម្នាក់ៗ ។ អនាគតរបស់សង្គមជាតិពឹងផ្អែកលើកុមារ និងការអប់រំគេអោយបានល្អ ដែលដើរតួយ៉ាងសំខាន់នៅក្នុងប្រទេសកំពុងអភិវឌ្ឍន៍ ។ ដូច្នេះវិស័យអប់រំ ជាភារវិនិយោគដ៏ធំ មួយសំរាប់អនាគតប្រទេសជាតិ ។

សំរាប់ឆ្នាំ ១៩៩៤នេះ វិស័យអប់រំរបស់គំរោងបានទទួលថវិកាច្រើនជាងគេ ក្នុងកិច្ចដំណើរការនូវសកម្មភាពនានា ដូចជាការកែលម្អផ្នែកមគ្គុទ្ទេសក៍ ជួយសាលាបឋមសិក្សា និងការសិក្សាភាសាអង់គ្លេស ។

គំរោងបានជួយជូនជូសអាគារនៃសាលារៀន ៥កន្លែង បន្ទាប់ពីធ្វើការសិក្សាអភិភាពរបស់សាលាបឋមសិក្សា នៅក្នុងខេត្តទាំងពីរ ។ គំរោងមានគោលការណ៍ច្បាស់លាស់ក្នុងការជួយសង ឬជូនជូលសាលា គឺទាល់តែមានការចូលរួម ពីអ្នក ដែលបានទទួលផលប្រយោជី ។ ដូច្នេះគំរោងផ្តល់តែសំភារៈសសំណង់ និងបច្ចេកទេសសង់ ឯប្រជាពលរដ្ឋមូលដ្ឋាន ចូលរួមក្នុងការសាងសង់ ។ មុននឹងចាប់ផ្តើមសាងសង់ ត្រូវមានការឯកភាពគ្នារវាង គំរោង និងប្រជាពលរដ្ឋមូលដ្ឋាន លើគោលការណ៍នេះ ពិតមែនតែត្រូវចំណាយពេលយូរ ប៉ុន្តែនេះជាបែបបទមួយចាំបាច់ ។ ក្រៅពីនេះ គំរោងបានចែកជូន ដល់សិស្សានុសិស្សនៃសាលាបឋមសិក្សាមួយចំនួន ដែលពិនិត្យឃើញថាមានការខ្វះខាត ។ អំណោយទាំងនេះបានទទួលពី សមាគមមាតាបិតាសិស្សប្រទេសជប៉ុន និងអង្គការ CARE ជប៉ុន ។

គ្រួសារមាតាបិតាក្នុងខេត្តកំពង់ស្ពឺ និងតាកែវបានរៀននូវវិធីសាស្ត្រថ្មីក្នុងការបង្រៀន ។ គ្រួសារអង្គគ្រួស ២ នាក់ បានបង្រៀនភាសានេះដល់គ្រូ និងបុគ្គលិកខេត្ត នៅសាលាគរុកោសល្យ និងសាលាមធ្យមសិក្សា ក្នុងខ័យធ្វើយតប និងសេចក្តីត្រូវការដ៏ធំធេង នូវចំណេះដឹងភាសាអង់គ្លេសដើម្បីបង្រៀននៅជនបទ ។



Building schools for the future of the nation

EDUCATION



Open your eyes to the outside world through learning English

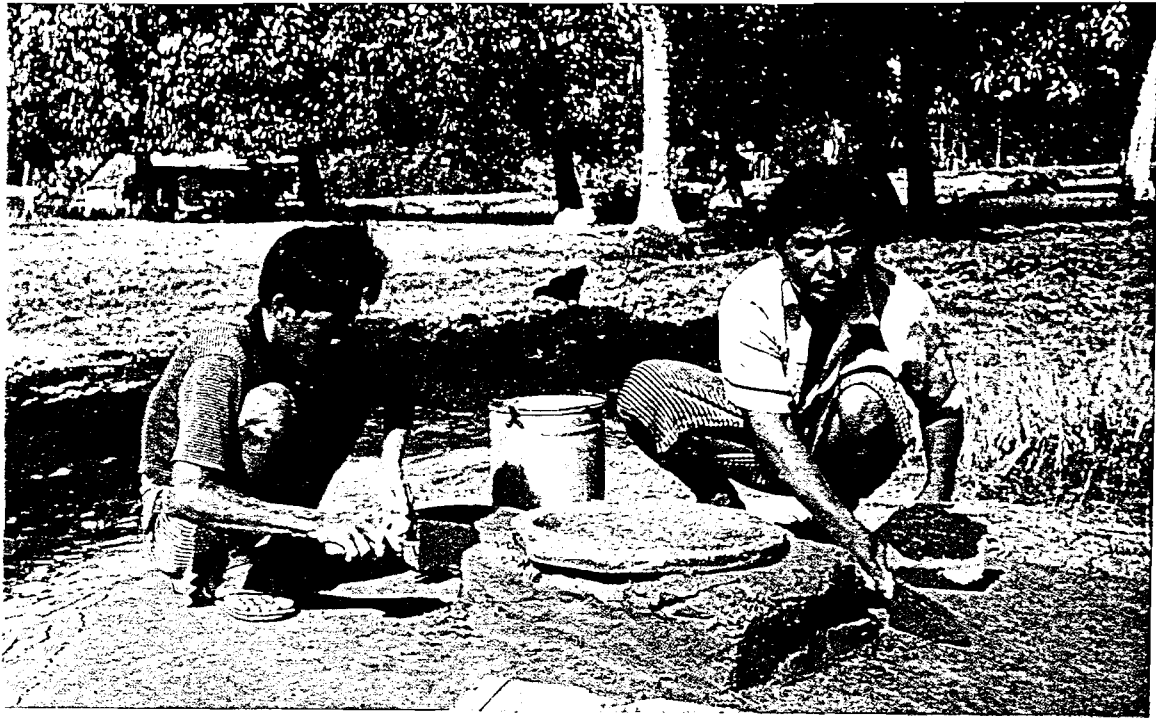
According to a baseline survey held by the Project in June, 1994, 64% of children go to school in Kong Pisey District, Kampong Speu Province, 58% of girls and 72% of boys. And literacy rate is 62.4% among adult population, 43.1% of women and 89.6% of men in the area.

Education needs a lot of money for the nation or for an individual. The future of the nation, however, relies on children, and their education plays the core roll in developing a country. Therefore, education is taken as the biggest investment for the future of the nation.

Education section in the Project, was allocated the highest budget for the year of 1994 as well and it has been deploying its activities in improving preschool education, supporting primary education and English education. The Project has been assisting in rehabilitation of buildings at five schools according to the priority set through studies on primary schools in the two Provinces. The Project strictly keeps the principle that the Project assists schools only when the beneficiaries participate in the work. The Project provides construction materials and building skills, but labors should be provided by the local population, though it often takes long time to agree with the people. But it is a necessary procedure to be taken before starting to work. The Project has been delivering school stationaries such as pencils, notebooks, etc. where the needs are very high in collaboration with PTA in Japan and CARE Japan.

Teachers of preschools are given guidance of new teaching methods in Kampong Speu and Takeo. Two English teachers have been training teachers and provincial staff at Pedagogy school and high school responding to the high demand for English education in the rural areas.

វិស័យសុខាភិបាល



Proper sanitation means healthy living

ការថែទាំសុខភាពបឋមនៅក្នុងសហគមន៍ ជាតាងរចំបងផ្នែកសុខាភិបាល ។ អ្វីទៅការថែទាំសុខភាពបឋម ?

ការថែទាំសុខភាពបឋម គឺធ្វើយ៉ាងណាដោយការរស់នៅមានសុខភាពល្អ ការការពារកុំអោយមានជំងឺ ឈឺច្បាត់ មានការចាក់ថ្នាំបង្ការ មានអនាម័យគ្រប់គ្រាន់ជុំវិញកន្លែងរស់នៅ មានចំណីអាហារគ្រប់គ្រាន់ ជាពិសេសសំរាប់កុមារ និងការដឹងជាមុននូវរោគសញ្ញា ហើយនិងយកទៅព្យាបាលនៅគិលានដ្ឋាន ឬមណ្ឌលសុខភាព ។

សកម្មភាពរបស់ផ្នែកថែទាំសុខភាពបឋមនៅតាម គិលានដ្ឋាន និងមណ្ឌលសុខភាពមាន :

- ._ព្យាបាលជំងឺទូទៅ ថែកថ្នាំ ពិគ្រោះជំងឺ
- ._គាំពារ មាតានិងទារក(ថែរក្សាមុនពេលកើត ពេលកើត ក្រោយពេលកើត)
- ._ចាក់ថ្នាំបង្ការ(របេង ឆ្កួតមាត់ ប្លីលីយ៉ូ កក្រិលី ចំពោះកុមារអាយុក្រោម ៥ឆ្នាំ និងតេតាណុសចំពោះស្ត្រីមានផ្ទៃពោះ)
- ._ការពន្យាកំណើត
- ._អនាម័យទូទៅ អនាម័យជុំវិញកន្លែងរស់នៅ និងប្រភពទឹកប្រើប្រាស់
- ._អនាម័យសិក្សា

._ផ្តល់ព័ត៌មាន ដំបូន្មាន និងឱកាសទាក់ទងនឹងការអប់រំសុខភាពស្តីពី :

- ._ចំណីអាហារ
- ._អនាម័យផ្ទាល់ខ្លួន អនាម័យជុំវិញការរស់នៅ ការប្រើប្រាស់ទឹកស្អាត
- ._ការការពារជំងឺ
- ._បង្កើនសុខភាព
- ._បញ្ហាសុខភាពតាមភូមិ និងសហគមន៍
- ._គាំពារ មាតានិងទារក

បុគ្គលិកសុខាភិបាល ជនកំចាត់ធ្វើពិនិត្យ និងដោះស្រាយបញ្ហាទាំងនេះ នៅតាមគិលានដ្ឋានប៉ុន្តែ ដោយជួយជួសជុលអាគារបន្ទប់គិលានដ្ឋាន និងជួយសំភារៈបរិក្ខារផ្សេងៗ ។ បុគ្គលិកអ្នកកំចាត់ជួយកែលម្អប្រព័ន្ធរដ្ឋបាលនៅការិយាល័យសុខាភិបាលស្រុក ។

PUBLIC HEALTH

The practice of Public Health in the community is Primary Health Care (PHC). Why is it Primary Health Care?

Primary Health Care is to promote healthy living conditions, preventive that it seeks measures to prevent diseases in the population by immunization, better environmental sanitation, better nutrition especially child feeding practice through organized community efforts and early diagnosis, and curative that minor ailments are treated at a clinic or health center.



"Don't cry, little boy."

Primary Health Care services at a Communal Clinic or Health Center are:

- Medical and nursing care, including health consultation,
- Maternal and child health care (Prenatal, natal and postnatal care),
- Immunization (BCG, DTC, Polio, Measels for children below 5 years old and Tetanus for pregnant women)
- Delaying the interval of pregnancy,
- Hygiene, environmental sanitation and safe water supply,
- School health and
- Giving information, guidance, counseling or health education on:
 - Nutrition,
 - Personal hygiene, environmental sanitation and use of safe water,
 - Preventing disease,
 - Promoting health,
 - Health problems in the village or in the community and
 - Maternal and child health care.

Eight health workers have been tackling problems mainly at communal clinics, starting to rehabilitate the clinic facilities, but one of them has been working for improving administrative capacity of a district health office.

ONE BIG FAMILY -The theme of the Project-
Words by D.T. Dannug (Philippine expert)
Music by T. Nobe (Japanese volunteer)

One big family
to restore the pride of this land
We felt the need to share our knowledge and
make a dream come true

One big family holding hand in hand
to lead the future with Khmer brothers
Show them how we work with them
and start to grow together
Live together, learn from each other
to show the people that we care

Heiwa to ai soshite hamony (Japanese)
Kapayapaan, pag-ibig at pagkakaisa (Philippine)
Cinta, damai, dan keharmonisan (Indonesian)
Santip, kwaamrak leksaamakkee (Thai)
Cintai, kedamaian dan keharmonian (Malaysian)
Santepiap kasrolanh nung ruomknia (Cambodian)
Peace and love and harmony
will bind our countries forever
Our commitment is our priority
for the love of this country

Kroursa yeung tae moi chap dai khnia
Sang ana kut chia moi bong po'on Khmae
Bong hanh tha yeung thveuka chia moi
neung kdey chomoreoun rourm khnia
Yeung rourh teang oh khnia, sek sa pi khnia
Bong hanh yeung reaksaa kee

One big family
to restore the pride of this land
We felt the need to share our knowledge and
make a dream come true
To make that dream come true
To make our dreams come true



Rural Development & Resettlement Project In the Kingdom of Cambodia



Project Office
GPO Box : 815
462, Monivong Blvd.
Phnom Penh, Cambodia

Tel : 23-27414
23-27372
018-810356
Fax : 015-913135